

中間試験問題

以下の から の新聞記事の中から一つを選び、それぞれ次の点につき答えなさい。

1. 記事において問題となっている労働法上の論点
2. その論点の前提となる法状況の説明
3. その論点に関する諸説
4. その論点に関する自らの見解

注意：1. いずれの記事を選択したのかを明記すること。
2. 設問 1 から 4 のいずれに対する解答であるかを明記すること。
3. 採点基準（50 点満点で採点する）
a) 設問の 1 から 4 の項目毎に、基本的には X の三段階評価を行う。
b) は必要なことが述べられている場合につけ、10 点。
は不十分にしか述べられていない場合につけ、5 点。
X は何も述べられていない、ないし関係ないことを述べている場合で、0 点。
c) 独創的な考えがみられた場合には、10 点の範囲で追加点をつける。

島根県事件

朝日新聞 2003-01-24

島根県職員労働組合は 24 日朝、県庁と県の出先機関で 29 分から 1 時間のストライキを実施した。職員の賃金カットを盛り込んだ県の財政再建策を提示した澄田信義知事との交渉が 23 日夜に決裂した。県庁ではこの日午前 8 時半、全職員約 1 万 5 千人のうち警察官や教諭らを除く約 5 2 0 0 人がストに入った。同 9 時からは県庁前で集会を開き、「知事は具体的な財政見通しを示していない」などと訴えた。窓口業務などは管理職が対応し、大きな混乱はなかったという。同県職員のストは、98 年 7 月以来 5 年ぶり。同県は昨年 10 月、財政の悪化から職員の基本給 3% カット（3 年間）を組合に提示し、2 月の県議会に給料条例改正案を提案する予定。地方公務員法でストは禁止されており、県はストに参加した職員を処分する方針。

恵和会事件

朝日新聞 2002-10-05

道地労委は医療法人社団恵和会（札幌市）に対し、「管理職が労働組合の執行委員長であることを理由に団体交渉申し入れを拒否したり、管理職の組合加入を阻害したりしてはならない」とする救済命令を出した。申し立てたのは恵和会労組。恵和会側は 02 年 1 月に労組執行委員長に選出された病院の放射線科課長について、「内規で管理職は組合に加入できない」などとして団体交渉を拒否。労組を無視して、労働条件の一方的な変更や同委員長を降格させるなどしたという。恵和会は課長には人事権があり、利益代表者に当たると主張。

フェデックス事件

朝日新聞 2002-01-31

米航空貨物大手「フェデラル・エクスプレス」（フェデックス）の日本支社労組幹部が、業務に支障のない範囲で組合活動をして懲戒解雇されたのは不当として、解雇無効などを求めた訴訟の判決が 30 日、大阪地裁堺支部であった。訴えていたのは、大阪府阪南市、フェデックス日本支社労組の山田憲吾副委員長（43）。判決によると、山田さんは 99 年 8 月、労組副委員長に就任後、関連会社の労組結成のため活動。休憩中の社員にピラを配った。会社側はこれらの行為がいずれも無許可で、企業秩序を乱す行為として 00 年 2 月、解雇した。